

第68回 国連女性の地位委員会（CSW68） 報告：合意結論の背景及び主なポイント



第68回国連女性の地位委員会(CSW) 等について聞く会
2024年9月25日



大崎麻子
Gender Action Platform理事
CSW68日本代表

(本資料は、CSW68日本政府代表団が
作成した議事録等をもとに作成)

▶ 第68回CSWの概要

会期：2024年3月11日～22日

場所：国連本部（ニューヨーク）

優先テーマ：ジェンダーの視点からの貧困撲滅、機構強化、資金動員によるジェンダー平等達成と女性・女児のエンパワーメントの加速

国家元首2名、副大統領3名、閣僚100名以上が参加。総勢4,000名近い代表団が、さまざまな議論に貢献。市民社会からは5,000名近い代表が参加し、歴代二番目に大きな規模。1,000を超えるサイドイベント及びパレレルイベントが実施された。

一般討論では、優先テーマに基づき、経済的エンパワーメント、社会的保護、ケア労働、紛争地の女性・女児への支援等に焦点を当てたステートメントが目立った。

日本政府代表団:

日本代表（加藤鮎子内閣府特命担当大臣、大崎）、外務省、内閣府、厚労省、文科省、国立女性教育会館(NWEC)、国際協力機構(JICA)、NGO代表（鴨澤小織さん）、ユース代表（鈴木りゆかさん）



▶ 開会式（3月11日）

António Guterres 国連事務総長

©UN Photo/Manuel Elías, UN71028858



- 紛争地では、男性が始めた争いにより、女性が最も苦しめられている。ガザでの紛争の即時停戦とすべての人質の無条件解放、人道支援の大幅な増加を求める。スーダン、アフガニスタン、イスラエルといった国々で女性が紛争下での暴力や抑圧を受けている。他方、平和構築への女性の参加の効果が証明されているにもかかわらず、女性の和平交渉への参加は減少している。女性の平和構築への参画のための予算と政策が必要である。
- 昨今、女性の権利への脅威として、二つの深い懸念事項がある：①家父長制の復活や権威主義・ポピュリストの台頭による、女性の自由やリプロダクティブヘルスへの攻撃と②男性ドミナントなデジタルテクノロジー（特に人工知能）分野におけるアルゴリズムのバイアスが多分野に及ぼす影響である。デジタルテクノロジーについては、政府や市民社会団体がデジタルジェンダー格差について対処し、女性の参加を促進すべきであるほか、この議題は9月のSummit of the Futureでも議論される。
- 貧困は女性の顔をしている。女性は土地や資源、資産へのアクセスが限られている。また、気候変動によって女性はより影響を受けている。また、貧困が暴力を悪化させ、暴力により貧困が悪化するという負のサイクルが存在する。SDGsのゴール5を達成するために更なる投資が必要。
- 各国政府は①貧困状態にある女性のニーズに応える予算や税金、②女性の経済参加を加速させる政策を通して貧困を撲滅する責任がある。
- 金融機関や銀行における女性の参加は著しく限られており、女性のリーダーシップを拡大するべきである。
- 国連において、シニアマネジメントにおけるジェンダー平等を初めて達成した。これはたまたまではなく、女性の代表制努力の結果である。国連に出来たのだから、各国政府にも可能なはずである。
- 事務局長として、今年の国際女性デーに、国連の全ての活動に女性と少女を中心に位置づけることや草の根レベルの女性団体への資金提供機会をコミットする国連システム共通の「Gender Equality Acceleration Plan」をローンチした。

▶ 日本代表団の発信

加藤 鮎子
内閣府特命担当大臣
(男女共同参画)・
女性活躍担当大臣



一般討論演説にて、ジェンダー視点での適切な資金調達がジェンダー平等及び女性と女児のエンパワーメントのためには不可欠であり、男女共同参画社会の実現・女性活躍の推進が、すべての人が生きがいを感じられ、個性と多様性が尊重される社会の実現のために極めて重要であると述べた。

「女性版骨太の方針2023」に定められた方針に基づき女性役員比率の数値目標を設定したこと、成長分野への女性の就業・スキル習得支援などの女性の経済的自立に向けた支援、女性の起業促進のための支援などの日本の取組を紹介した他、防災に関する意思決定に女性が参画することの重要性を強調。

大崎 麻子
CSW68日本代表



1. 閣僚級ラウンドテーブルにて、国内での取組として、男女の賃金差異と男性育休取得率の情報開示の義務化、ケアワーカーの待遇改善、税と社会保障制度の見直し、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律について、国際的な取組としてJICAのジェンダーボンド、UN Womenや女性起業家資金支援イニシアティブ（We-Fi）を通じた支援、WPS（女性、平和、安全保障）のさらなる推進について報告した。
2. インタラクティブ・ダイアログ・レビューテーマ（CSW63優先テーマの社会保護システム、公共サービス及び持続可能なインフラへのアクセス）にて、オーストラリアの要望に応じ、同国の取組み報告に対してコメント。戦略的な取り組みを行っていることを賞賛しつつ、縦断的なデータ収集と、それがどのように政策立案に活用されているかについて質問した。

優先テーマ「ジェンダーの視点からの貧困撲滅、機構強化、資金動員によるジェンダー平等達成と女性・女児のエンパワーメントの加速」(合意結論ゼロドラフト)

背景

- ✓ 複合的な危機による貧困の拡大、政府の財政状況の悪化、公共政策・サービスの縮小
- ✓ 女性の貧困率は男性の貧困率よりも高い。貧困層の女性・少女は、複数の複合的な剥奪を経験（人種、エスニシティ、障害、居住地、婚姻・移民ステータス等）
- ✓ 国連事務総長の呼びかけ：「SDGs達成に向けた資金動員・調達をスケールアップすること」「資金を公正（equitable）に動員し、女性・少女の貧困の根絶に的を絞った投資・政策を実行すること」

問題意識

1. 国際金融システムのあり方
2. 財政・経済・社会政策の策定におけるジェンダー主流化の現状
3. 女性団体の参画・財政基盤・キャパシティ
4. 既存の開発戦略の限界

提言

政府に行動を要請(urge)する

市民社会（女性団体、ユース団体、フェミニストグループ）、
民間セクターなどの関係ステークホルダーにも行動を呼びかける（invite）

▶ 合意結論の主なポイント

1. 開発コミットメントの達成に向けた資金調達・動員にジェンダー視点を統合すること
2. ジェンダー視点のある経済・社会政策を実施すること、公的機関を強化すること
3. 女性・少女の貧困の根絶に向けた支出のために財政余力を拡大すること
4. 持続可能な経済と持続可能な社会に向けた新たな開発戦略を形成する
5. 女性団体・共同体の参画を促し、資金を提供する
6. 多角的な貧困に関する細部化されたデータ及び統計を拡充する

英語版：<https://documents.un.org/doc/undoc/ltd/n24/081/40/pdf/n2408140.pdf?token=Ar5TJJNkOFBmXnU1O8&fe=true>

▶ 合意結論に向けた非公式協議（3月15日～24日）

ファシリテーター：ヨーカ・ブランドオランダ国連大使（CSW副議長）

地域等のグループ

1. アフリカグループ：アフリカすべての国
2. EU：EU加盟国
3. ブエノスアイレスグループ：ラテンアメリカの先進的な国（アルゼンチン、ブラジル、ボリビア、コロンビア、チリ、コスタリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ホンデュラス、メキシコ、パナマ、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ）
4. PIFF（太平洋島嶼国フォーラム）
5. マウンテンズグループ：EUに加盟していない西欧諸国（ノルウェー、アイスランド、リヒテンシュタイン）、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド

主な論点

1. 昨今の国際動向を背景とした論点
 - ✓ ガザ情勢：アラブ諸国によるconflict/emergencyに関するパラの提案(各国協議の末、反映)
 - ✓ women under foreign occupationに関する記述の提案（最終的にはテキストに反映されず）
 - ✓ イスラモフォビアに関する言及の提案（他の宗教も併記することで合意）
2. 従来からの争点
 - ✓ Multiple and intersecting forms of discrimination (MIFD)
 - ✓ Gender-responsive/gender-sensitive/transformative
 - ✓ Sexual and reproductive health and rights



北京 + 30に向けて：日本の国際協力における貢献及び国内施策の拡充

国連開発計画（UNDP） 駐日代表事務所HPより

<http://www.undp.or.jp/undpandjapan/widfund/library.shtml>

関連リンク

- UNDP/日本WID基金トップページ
- ジェンダーと開発
- UNDPにおけるジェンダーの位置付け
- 基金設立からの歩み
- 成果を生み出すストラテジー
- 世界中での活動実績
- 知識の還元：シンポジウム・ワークショップ
- ライブラリー
- UNDP/日本WID基金とTICAD IV
- ジェンダーと開発：新しいグローバル・アジェンダ(英語)
- UNDP/日本WID基金英語サイト

検索

UNDP駐日代表事務所
ソーシャルメディア

Facebook

いいね！ 1.3万

Twitter

Follow @UNDPTokyo

YouTube

Flickr

ライブラリー

UNDP / 日本WID基金 報告書シリーズ

2005年度 10周年記念報告書



WID基金設立10周年を記念して開催されたシンポジウムで発表されました。通常の年次報告書に加え、WID基金が10年間の活動で培った案件形成におけるノウハウと手法、取り組みの成果、政策的知見などを総合的に分析しています。

2003年度 年次報告書



「ジェンダー予算」や「MDGsに向けた取り組みのジェンダー主流化」など、イノベティブな新規案件を紹介しています。また、WID基金がプロジェクトの実施を通じて培ってきた知見や経験がどのように他国での取り組みや政策レベルで活用されているのかを、案件ベースで説明しています。（言語：英語版のみ）

2002年度 年次報告書



2002年に承認された8つの新規案件を含む世界中のプロジェクトの活動を報告しています。また、他の開発機関や政府とのパートナーシップの構築や、案件間の連携による相乗効果についても解説しています。

2001年度 年次報告書



ミレニアム開発目標（MDGs）の設定や「女性2000年会議」（北京プラス5）などグローバルな動き、TICAD IIで採択された行動計画の実施支援など、国際的な開発支援の枠組みとWID基金のつながりを解説しつつ、新規案件を含む世界中のプロジェクトの活動を報告しています。

2000年度 報告書



4つのプロジェクトを取り上げ、背景、戦略、効果を解説するとともに、現地での活動の様子をUNDP親善大使の紺野美沙子さんやテレビ・キャスターの長野智子さんが現地視察した様子やインタビューを交えて紹介しています。

UNDP / 日本WID基金 最新パンフレット (2007年)



UNDP / 日本WID基金
オンライン・ツール集 (英語)

「ジェンダー予算」に関するマニュアルなど、当基金が支援してきたプロジェクトの活動の一環で作成されたツールを集めたオンライン・ツール集です。年次報告書の英語版もこちらからダウンロードすることができます。

リソース&リンク集 (英語)

UNDP本部ウェブサイト内にあるオンライン・リソースとリンクを集めたウェブページ。ジェンダー主流化に関するリソース、国連システムをはじめとする国際機関や市民社会組織のジェンダー関連ページへのリンクをご覧いただけます。

マルチメディア & フォトギャラリー



©2024 Asako Osaki

8

ご清聴ありがとうございました